

私を変えた先生との出会い

わたしは、2年生の時のたん任だった、S先生に「ありがとう。」が言いたいです。

それは、2年生になったばかりの時、1年生でなかよしだったお友だちとクラスがわかれて、ドキドキしていたわたしに、「大じょうぶだよ。玲実さんならきっとお友だちができるよ。」と声をかけてくれました。そのとき、ドキドキだった気持ちも、すぐにとんでいきました。

学校に行く時間になると、なんだか心の中がモヤモヤして、と中家に帰って、お母さんをこまらせたこともありました。その時も、先生が「大じょうぶだよ。」とやさしく声をかけてくれました。何かあると、先生がいつも声をかけてくれたので、わたしはとてもうれしくなりました。

また、クラスのお友だちと昼休みの遊ぶ日をつくってくれて、わたしたちはだんだんお友だちがふえてきました。自分からお友だちに「いっしょに遊ぼう。」と言えるようになりました。

先生は漢字の書きとりの宿題も「上手に書けてるね。」とたくさんほめてくれました。わたしは、書くことが大すきになりました。それから、学校に行くのが楽しくなっていました。

先生は、わたしにいろいろなことを教えてくれました。3年生になり、クラスの友だちと先生がかわり、わたしの心はまたドキドキになっていました。でも、すぐになれていきました。それは、2年生での出来事があったから、すぐになれたのだと思います。わたしは、S先生と出会って本当によかったです。

時任 玲実
(小学生)